

# 都市計画道路 茨木箕面丘陵線外1線 清水高架橋整備事業

(1)

## 1. 位置図



(2)

## 2. 完成予想図



(3)

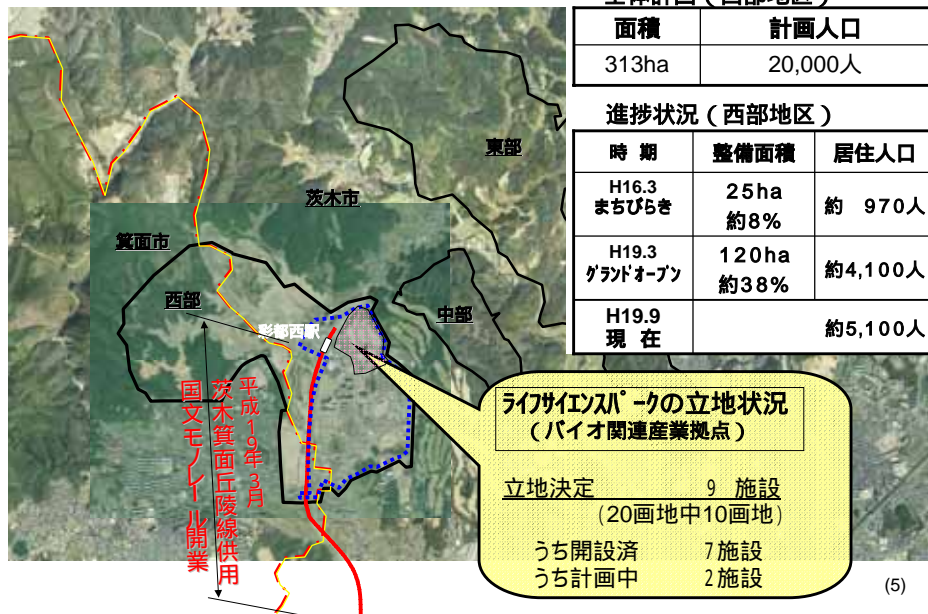
## 3. (都) 茨木箕面丘陵線の経過

<p>彩都まちはらき 25ha (平成16年4月) に合わせた整備</p> <p><b>平成16年3月</b></p> <p>側道2車線 暫定供用</p>	
<p>彩都グランドオープン 120ha (平成19年3月) に合わせた整備</p> <p><b>平成19年3月</b></p> <p>平面4車線 供用</p>	

Map labels include: 彩都西部地区 (Sakai West Area), 彩都西駅 (Sakai West Station), 茨木箕面丘陵線 (Sakai Hatanuma Ridge Line), 清水交差点 (Shimizu Intersection), 国道171号 (National Route 171), 豊川駅 (Toyonaka Station), 道祖本摂津北線 (Michinobe Setsumi North Line), 阪大病院前駅 (Hankai Hospital Front Station), 万博公園 (Wafu Park).

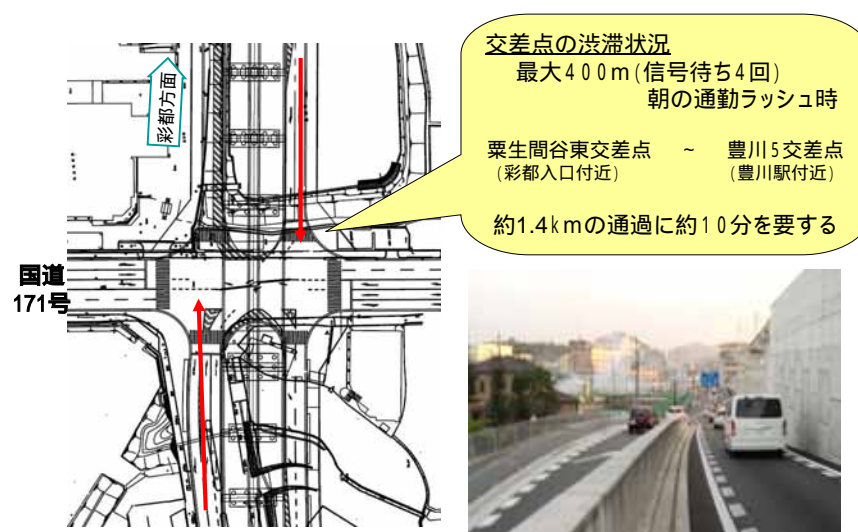
(4)

## 4. 彩都の現状



(5)

## 5. 清水交差点の現状



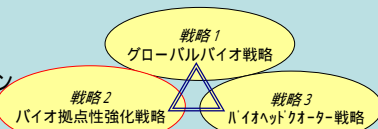
(6)

## 6. 事業の背景

大阪府では、北大阪における国際的バイオクラスターの形成ため  
平成19年3月「彩都バイオグランドデザイン」を策定。  
“企業誘致を促進するインフラ整備 = 交通アクセスの強化”として本事業を位置付け

### 【彩都バイオグランドデザイン】の概要

目標: 世界 1 バイオクラスターへの挑戦  
期間: 今後10年を展望  
性格: 彩都から戦略的に先導する産学官  
共通の目標、方針、アクションプラン



「大阪府彩都バイオ推進本部」  
平成19年6月設立

グランドデザイン  
具体化・実現のため  
総合調整

**アクションプラン**  
～彩都バイオヒルズの利便性・魅力向上  
付加価値機能の強化～

バイオヒルズ都市基盤整備  
: 交通アクセスの強化

**国道171号との交差点の立体交差化**

(7)

## 7. 事業の概要

### 目的

本事業は彩都グランドデザインの位置付けのもと、大阪府都市基盤整備中期計画におけるアクションプランとは別に、彩都への企業誘致促進のため、国道171号との交差点(清水交差点)の立体交差化を行うものである。

### 事業概要

事業延長 L = 0.4 km

- ・橋梁上部工 L = 0.3 km
- 幅員 8.35 m (片側 2 車線) × 2 (計 4 車線)
- ・交差点改良工事等 1 式

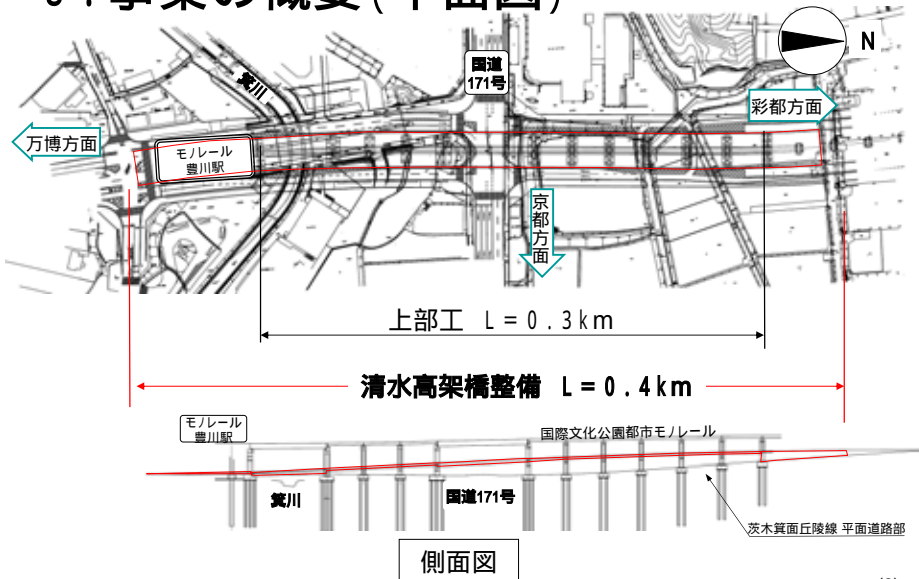
### 事業費

全体事業費 約 16 億円  
〔内 調査費 0.3 億円  
工事費 15.7 億円〕

事業費については橋梁上部工整備にかかる事業費のみとする。  
(下部工については、モノレールとの一体構造とし整備済み。)

(8)

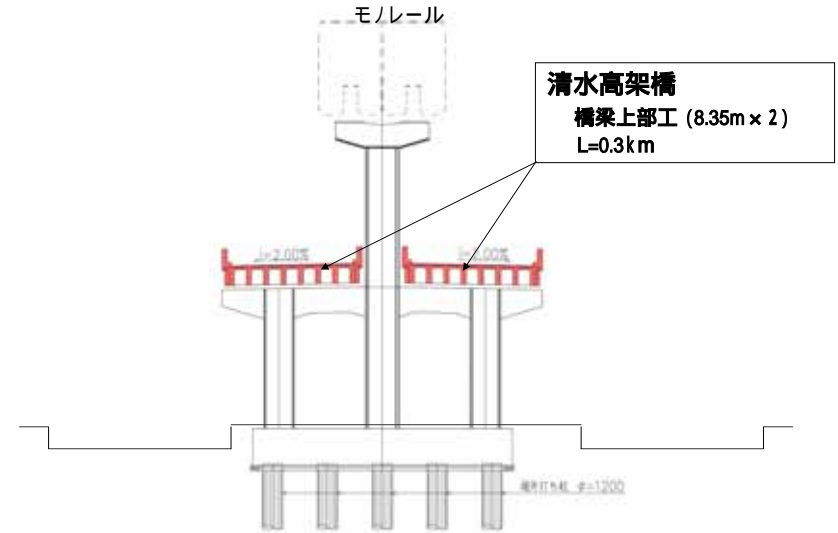
## 8. 事業の概要 (平面図)



側面図

(9)

## 9. 事業の概要 (標準断面図)



(10)

## 10. 事業スケジュール

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
彩都 (西部地区) 整備							整備完了予定
清水高架橋整備	詳細設計 交差点設計等	■					
	上部工桁 工場制作		■				
	現地架設作業			■	■		
	交差点改良工事等					■	

(11)

## 11. 事業効果について

### 1. 定量的分析

#### (便益の内容)

走行時間短縮便益

走行費用減少便益

交通事故減少便益

**総便益 B = 533.2 億円**

#### (費用の内容)

事業費、維持管理費

**総費用 C = 15.3 億円**

下部工は含まず

**費用便益比 B / C = 34.80**

費用分析マニュアル  
(国土交通省平成15年8月)により算出

粟生間谷東交差点 ~ 豊川5交差点 (約1.4km)

現況: 通過に約10分 立体交差化により約2分に減少

### 2. 定性的分析

交差点通過交通車両が高架橋へ転換されるため

彩都への企業誘致促進に寄与 (交通アクセスの利便性向上)

歩行者の安全性が向上される。

沿道の振動騒音が低減される。

(12)